

日 本 史

日 本 史

第1問 古代～近代の法制の歴史に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～8）に答えよ。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 中国で隋にかわって唐が成立し、強大な帝国を築くと、東アジア諸国で政治改革が進んだ。それは日本（倭）も同様であった。日本は、天皇（大王）の一族が権勢をふるっていた豪族を排除し、唐にならって、天皇中心の国家を形成することをめざした。この動きは^a朝鮮半島をめぐる混乱の中で一時停滞したが、アを経て即位した天武天皇と、その皇后の持統天皇のころに大きく進展し、唐にならった^b律令が完成した。

律令が完成した当初は、伝統的な支配体制に依拠した部分も多くあったが、やがて律令の規定は全国各地に浸透していった。平安時代の初期には律令政治の見直しがはかられ、法制が整備され、令の条文の公的な注釈書である『イ』もまとめられた。

問1 空欄ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。1

- | | | | |
|----------|-------|----------|--------|
| ① アー乙巳の変 | イー令義解 | ② アー乙巳の変 | イー弘仁格式 |
| ③ アー壬申の乱 | イー令義解 | ④ アー壬申の乱 | イー弘仁格式 |

問2 下線部^aに関連して、この混乱について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。2

- ① この混乱の様子は、好太王碑の碑文に記録されている。
- ② この混乱は、百濟復興支援のために行われた。
- ③ この混乱ののち、全国各地に水城がつくられた。
- ④ この混乱ののち、皇極天皇が重祚して斉明天皇となった。

問3 下線部^bに関連して、律令の税制や民衆の負担について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。3

- ① 租は、各地の特産品を都に納める税である。
- ② 庸は、成人した良民の男女に課せられた税である。
- ③ 運脚とは、各地の貢納品を都へ運ぶ人夫である。
- ④ 6年に一度作成される計帳により、班田収授が行われた。

B 応仁の乱を経て戦国時代を迎えると、各地に割拠した戦国大名は、国力を増強するためにさまざまな施策を行った。特に下剋上の風潮の中で、家臣団の統制は国力増強に不可欠であった。戦国大名は家臣団の統制のため、で擬似的な親子関係を結ばせて結束を固めたり、分国法を制定したりするものもあった。分国法には、最初の武家法であるの影響もみられた。

全国統一がされたのち江戸幕府が成立すると、^㉞幕府は、武家をはじめ、中世以来大きな権力を持った朝廷・公家や寺社も、法令によって統制した。そして強大な権力を背景に、法令に違反した場合には、厳しい罰則を科して国内を統制した。下剋上の風潮は次第に消失し、^㉟法や道徳による秩序に基づいて政治が行われるようになっていった。

問4 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウー寄親・寄子制 エー御成敗式目
- ② ウー寄親・寄子制 エー建武式目
- ③ ウー惣領制 エー御成敗式目
- ④ ウー惣領制 エー建武式目

問5 下線部㉞に関連して、江戸時代初期の幕府による統制やその影響について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 徳川家光は、大名に対して参勤交代を義務づけた。
- ② 関ヶ原の戦いの直後に、一国一城令が定められた。
- ③ 紫衣事件に反発して、後陽成天皇が譲位した。
- ④ 京都や大坂など、重要都市には外様大名が配置された。

問6 下線部㉟に関連して、江戸時代の文治政治について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 徳川家綱が将軍のときに、末期養子の禁止が緩和された。
- ② 徳川綱吉により、生類憐みの令が廃止された。
- ③ 会津藩の保科正之は、山崎闇斎を招聘した。
- ④ 加賀藩の前田綱紀は、木下順庵を招聘した。

C 明治政府は、^㉔幕末に結んだ不平等条約の改正を外交上の課題とした。欧米列強と対等の外交を行うためには、近代的な法体系を備えた近代国家となる必要があり、政府は憲法の制定をめざした。

明治時代初期には、司法省を中心に西洋の憲法をそのまま移植するなどの考えも見られたが、中断された。その後自由民権運動が高揚し、政府の中心となった伊藤博文が憲法制定を主導した。伊藤は憲法調査のためヨーロッパへ渡り、君主権の強いドイツ憲法を模範とする方針を定めた。^㉕大日本帝国憲法が制定されると、それに伴って民法や商法など諸法典も制定された。また明治時代の終わりには、不平等条約の撤廃が実現した。

問7 下線部^㉔に関連して、条約改正交渉について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

- Ⅰ 小村寿太郎が新条約を締結し、関税自主権を完全に回復した。
- Ⅱ 陸奥宗光が日英通商航海条約を締結し、領事裁判権を撤廃した。
- Ⅲ 井上馨が鹿鳴館を建設して欧化政策をとり、条約改正会議を開いた。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

問8 下線部①に関連して、次の史料を読み、大日本帝国憲法およびその後定められた民法（明治民法）に関して述べた下の文 **a** ～ **d** について、正しいものの組合せを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 8

大日本帝国憲法

第四条 天皇ハ国ノ元首^{げんしゅ}ニシテ統治権^{とうしけん}ヲ総攬^{そうらん}シ此ノ憲法^こノ条規^{じょうぎ}ニ依リ之ヲ行フ

第十一条 天皇ハ陸海軍^{りくかいぐん}ヲ統帥^{とうすい}ス

第二十八条 日本臣民ハ安寧秩序^{あんねい}ヲ妨^{さまた}ケス及臣民タルノ義務^{こむ}ニ背^{かざり}カサル限^{かぎり}ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス

第二十九条 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス

民法

第七百四十九条 家族ハ戸主ノ意ニ反シテ其居所ヲ定ムルコトヲ得ス……

第七百五十条 家族カ婚姻^{こんいん}又ハ養子縁組^{ようしえんぐみ}ヲ為スニハ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス……

第七百七十二条 子カ婚姻ヲ為スニハ其家ニ在ル父母ノ同意^あヲ得ルコトヲ要ス……

第八百一条 夫ハ妻ノ財産ヲ管理ス……

- a** 憲法では、天皇は国の元首として、陸海軍の統帥権を持つとしていた。
b 憲法では、臣民の自由はいかなることがあっても制限されないとしていた。
c 民法の規定では、家族の婚姻などに戸主は強い権限を持っていた。
d 民法では、男女の同権や人権の尊重が強く規定されていた。

- ① **a・c** ② **a・d** ③ **b・c** ④ **b・d**

第2問 古代の仏教とその影響に関する A～C の文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 古墳時代の後期に日本に伝来した仏教は、当初は一部の中央豪族らが受容し、のちに大王家（天皇家）も受け入れた。大王家や中央豪族は、^㉑古墳にかわって氏寺を建立し、かつて古墳が担っていた機能を氏寺で代替するようになった。

その後仏教は、次第に地方にも広がりを見せ始めた。各地の豪族が中央豪族にならって建立した寺院は、各地域において文字などさまざまな技術を受容する拠点となった。奈良時代には疫病や^㉒戦乱などの社会不安が高まる中で、鎮護国家の思想が強まり、仏教は天皇の統治に不可欠なものと認識されて寺院の権勢が強まった。中央だけでなく各国にも寺院が建立される一方で、民衆への布教は禁止された。

問1 下線部^㉑に関連して、古墳に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 古墳時代の前期には、畿内を中心に群集墳が多くみられた。
- ② 日本最大の古墳である江田船山古墳からは鉄刀が発見された。
- ③ 古墳時代の中期の副葬品には武具や馬具が多くなった。
- ④ 古墳の周辺には、武人や家、船などさまざまな形の土偶が置かれた。

問2 下線部^㉒に関連して、奈良時代の政変に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

- Ⅰ 称徳天皇の死後、藤原百川らによって光仁天皇が擁立された。
- Ⅱ 藤原広嗣が、吉備真備や玄昉の排除を求めて九州で挙兵した。
- Ⅲ 橘奈良麻呂が藤原仲麻呂の排除を画策したが、事前にとらえられた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

B 桓武天皇が新都へ遷都したころ、大陸から新たな仏教がもたらされた。この③新しい仏教は、現世利益を求める貴族たちに受け入れられ、やがて教団を形成し、大きく発展した。新しい仏教は山岳での修行を重視したため、たとえば「女人高野」とよばれたアのように、山間部に寺院が建立され、自由な伽藍配置がとられた。また、一木造の仏像がつくられることも多くなった。

かつては国家により管理されていた仏教は、次第に民間への広まりをみせはじめた。新しい仏教の山岳での修行は在来の山岳信仰と融合し、のちにイを生み出した。さらに日本古来の神祇信仰と仏教信仰との融合が進み、④神仏習合の動きが盛んになっていった。

問3 空欄ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① アー大安寺 イー陰陽道
- ② アー大安寺 イー修験道
- ③ アー室生寺 イー陰陽道
- ④ アー室生寺 イー修験道

問4 下線部③に関連して、平安時代に伝えられた仏教に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 空海は中国から帰国したのちに、真言宗を開いた。
- ② 空海は、嵯峨天皇から平安京内に東寺を賜った。
- ③ 最澄は中国から帰国したのち、高野山に金剛峰寺を開いた。
- ④ 最澄の弟子の円仁や円珍らは、中国に渡り密教を学んだ。

問5 下線部④の神仏習合に関係が深いものの例として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 神前読経 ② 頂相 ③ 神宮寺 ④ 本地垂迹説

C 摂関政治が行われ、㉔藤原氏北家が全盛を迎えていたころ、宮中では年中行事が重視されていた。年中行事には、官吏の任命を行う除目など政治的な儀礼をはじめとして、端午節会や七夕など季節に関わるものや、賀茂祭などの神事に加え、仏教に関わる儀式もみられ、仏教による鎮護国家は国家の運営に不可欠なものであった。

同じころ、末法思想の広まりを背景に、死後に極楽浄土への往生を願う㉕浄土教が広まりをみせはじめ、貴族の中には壮麗な阿弥陀堂を建立するものも現れた。浄土教は民間に布教する聖などの僧により地方にも広まり、平安末期には全国各地で浄土教の影響を受けたと考えられる建築や彫刻がみられるようになった。

問6 下線部㉔に関連して、藤原氏北家の人物に関して述べた文として誤っているものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 藤原良房は、清和天皇のときに摂政となった。
- ② 藤原基経のとき、阿衡の紛議とよばれる事件が起こった。
- ③ 藤原道長は、後三条天皇のときに摂政となった。
- ④ 藤原頼通は、3代の天皇の摂政・関白となった。

問7 下線部㉕に関連して、浄土教や浄土教美術に関して述べた文として正しいものを、次の①

～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 行基は人々の間に浄土教を広め、「市聖」とよばれた。
- ② 源信は『選択本願念仏集』を著し、浄土信仰を説いた。
- ③ 「南無妙法蓮華経」と題目をとなえることが奨励された。
- ④ 定朝は寄木造の技法により、多くの阿弥陀如来像を制作した。

第3問 中世の政治に関する A・B の文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 平安時代末期の二つの戦乱を契機に台頭した^㉑平清盛は、のちに後白河法皇と対立し、法皇を幽閉した。これに対し、平氏に反感を持っていた各地の武士が挙兵し、約5年にわたる争乱が繰り広げられた。この争乱に勝利したのは、反平氏勢力の一つとして挙兵した源頼朝であった。頼朝は東国で挙兵し、各地の武士団と主従関係を築いて勢力を伸ばした。さらに朝廷との交渉の中でさまざまな職権を獲得し、武家の棟梁としての地位を固めた。頼朝が築いたこの政権を^㉒鎌倉幕府といい、東国で強固な支配権を握った。その一方で、朝廷は依然として大きな政治力・経済力を持っていたため、幕府は畿内や西国では強い権限を持てなかった。

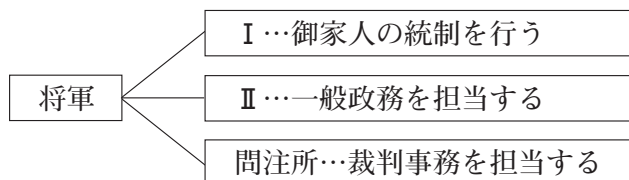
頼朝の死後、幕府内部では有力御家人の合議体制が構築された。そこで台頭したのが北条氏であった。^㉓北条氏は将軍を補佐する執権を世襲し、他の有力御家人を排斥して、次第に専制的な政治体制を築いていった。

こうした北条氏の専制政治は幕府の支配体制を強化する反面、御家人たちの反感を強めることになり、後醍醐天皇が討幕運動を起こすと、有力御家人の一部がこれにしたがい、鎌倉幕府は攻め滅ぼされた。

問1 下線部^㉑に関連して、平氏政権に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 平清盛は征夷大將軍となり、各地の武士に号令を発した。
- ② 平清盛は娘を安徳天皇に嫁がせ、子の高倉天皇の外戚となった。
- ③ 鹿ヶ谷の陰謀で俊寛や藤原成親らが捕えられ、流罪となった。
- ④ 平氏政権は日宋貿易を振興し、和賀江島を修築した。

問2 下線部^㉒に関連して、次の鎌倉幕府の職制を示した図に関して述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17



- ① I の長官は山城国の守護を兼ねた。
- ② I の初代長官は三善康信であった。
- ③ II は朝廷の監視や西国の統轄も担当した。
- ④ II の初代長官は大江広元であった。

問3 下線部㉔に関連して、執権政治に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 北条時政は、裁判の迅速化を図って引付を設置した。
- ② 北条泰時は、執権を補佐する連署を設置した。
- ③ 北条時頼は、京から藤原頼経を将軍に招いた。
- ④ 北条時宗は、永仁の徳政令で御家人の救済を図った。

B 鎌倉幕府の打倒に成功した④後醍醐天皇は、これまでの慣習にとらわれず、天皇みずからが政治を行う親政を始めた。これは従来の慣習であった院政とちがい、天皇個人に権力を集中させて政治を主導するものであった。そのため混乱が大きく、短期間で失敗に終わった。

全国化・長期化した⑤南北朝の動乱は、足利義満のときに終息に向かった。義満は、動乱の中で成長した守護の勢力を削減して幕府に従わせた。その一方で、公家社会にも強い主導権をもち、朝廷のもっていたさまざまな権限を吸収した。義満は征夷大將軍、太政大臣を歴任し、出家後は日明貿易を主導して「ア」の称号を得た。

⑥義満の子の義持は、有力な守護との協調を重視する政治を行い、幕府と守護との勢力均衡が保たれ、政治的には安定した時代が続いた。義持の死後に將軍となった足利義教は権力集中を図り、自身に従わない鎌倉公方のイを討つなど、専制的な政治を行った。そのため守護の反発が高まり、義教は有力守護の一人であった赤松満祐に殺害された。この事件により、將軍の權威は大きく失墜することとなった。

問4 空欄 ア ・ イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- | | | | |
|-------------------|----------------|-------------------|----------------|
| ① <u>ア</u> —日本国王 | <u>イ</u> —足利基氏 | ② <u>ア</u> —日本国王 | <u>イ</u> —足利持氏 |
| ③ <u>ア</u> —安東大將軍 | <u>イ</u> —足利基氏 | ④ <u>ア</u> —安東大將軍 | <u>イ</u> —足利持氏 |

問5 下線部④に関連して、建武の新政に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 本領安堵のためには、將軍が発給する綸旨が必要とされた。
- ② 二条河原落書は、新政の混乱の様子を風刺したものである。
- ③ 土地に関する訴訟を扱う機関として、雑訴決断所が置かれた。
- ④ 地方機関として、陸奥將軍府や鎌倉將軍府が設置された。

問6 下線部⑤に関連して、南北朝の動乱に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 南朝を支持する足利尊氏に対し、北朝の後醍醐天皇が対抗した。
- ② 守護に莊園や公領の年貢の半分を徴発する権限を認める半済令が出された。
- ③ 新田義貞が『神皇正統記』で、後醍醐天皇側の正統性を主張した。
- ④ 雪舟などの戦火を逃れた文化人や貴族により、中央の文化が地方へ波及した。

問7 下線部①に関連して、4代将軍の足利義持に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22

Ⅰ 足利義持が将軍に就任した際に、正長の徳政一揆が発生した。

Ⅱ 足利義持の東山山荘にある建物は、のちに銀閣とよばれた。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

第4問 近世・近代の長崎の歴史に関する A・B の文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 南蛮貿易の開始以後、九州のキリシタン大名であった **ア** は、南蛮人の大きな船が停泊できる港を長崎に開き、多くの南蛮人が来航した。**ア** は長崎付近の土地をキリスト教の教会に寄進したが、九州を制圧した^a 豊臣秀吉はこのことを危険視し、キリスト教の宣教師を国外に追放するよう命じた。

豊臣秀吉にかわり全国を支配した江戸幕府は、はじめキリスト教に対して寛容な姿勢を見せたが、やがて全国に禁教令を出して、キリスト教の信者に対して弾圧を加えた。島原の乱ののちには、キリスト教徒への弾圧をさらに強めた。また、肥前国の **イ** のオランダ商館を長崎の出島に移した。こうして、いわゆる^b 「鎖国」が実現し、長崎は江戸幕府の窓口として、長崎奉行の下で厳しくキリスト教の流入を監視しながら貿易が行われた。^c 他の地域についても幕府は統制を強め、幕府が対外交渉と貿易を独占する体制が作り上げられた。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① **ア**ー大村純忠 **イ**ー平戸 ② **ア**ー大村純忠 **イ**ー堺
③ **ア**ー高山右近 **イ**ー平戸 ④ **ア**ー高山右近 **イ**ー堺

問2 下線部^aに関連して、秀吉が出したバテレン追放令に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

- ① 貿易は奨励されたので、効果は不十分であった。
② 長崎で、絵踏を行うことを徹底する法令であった。
③ 宣教師だけでなく、すべての信者の追放を命じた。
④ ヤン＝ヨーステン（耶揚子）やウィリアム＝アダムズ（三浦按針）が、法令の起草に協力した。

問3 下線部^bに関連して、江戸時代初期の幕府の外交に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **25**

- Ⅰ 海外渡航および海外在住の日本人と日本船の帰国を禁止した。
Ⅱ ポルトガル船の来航を全面的に禁止した。
Ⅲ スペイン船の来航を全面的に禁止した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問4 下線部㉔に関連して、江戸時代の対外交渉などに関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 朝鮮との外交に際しては、対馬の島津氏を中心になった。
- ② 日本から朝鮮へは、たびたび通信使が派遣された。
- ③ 松前藩はアイヌとの交易権を家臣に与える商場知行制をとった。
- ④ アイヌは和人の収奪に対抗して、コシャマインを中心に戦った。

B いわゆる「鎖国」政策のもとで、長崎ではオランダと中国との貿易が行われた。オランダや中国の商館は「風説書」を幕府に提出した。これらは老中らに閲覧され、海外情報がとり入れられた。^④幕府は貿易を独占的に支配したが、調整には常に苦心した。中国の王朝が清に交替すると、清の貿易船が多数長崎に来航するようになった。一方で国内の鉱山から産出される銀が減少したため、幕府は貿易量を制限し、さらに密貿易などを取り締まるため、長崎に唐人屋敷を建設した。

徳川吉宗の漢訳洋書の輸入制限緩和を受け、国内で蘭学が盛んに学ばれるようになると、長崎は外国文化に触れられる最先端の土地として、各地から学者が訪れた。オランダ商館の医師であったシーボルトは を設け、医学や博物学の講義を行い、その後の日本の科学発展に貢献する多くの門下生を送り出した。

19 世紀におけるヨーロッパ各国の関係の変化は、長崎にも影響を与えた。イギリスの軍艦が長崎に侵入して食料や燃料を強奪した は、その後の幕府の対外政策に大きく影響を与えた。また、^⑤幕末にはロシアの使節プチャーチンが長崎に来て開国を要求した。

問5 空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | | |
|---|-------|-----------|---|-------|------------|
| ① | ウー芝蘭堂 | エーモリソン号事件 | ② | ウー芝蘭堂 | エーフェートン号事件 |
| ③ | ウー鳴滝塾 | エーモリソン号事件 | ④ | ウー鳴滝塾 | エーフェートン号事件 |

問6 下線部④に関連して、江戸時代中ごろの対外政策や貿易に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 新井白石は海舶互市新例を定め、貿易額を制限した。
- ② 徳川綱吉は、近藤重蔵らに蝦夷地の探査を命じた。
- ③ 中国からは、おもに銅や倭物が輸入された。
- ④ 中国から、将軍の代がわりごとに慶賀使が派遣された。

問7 下線部㊦に関連して、幕末に起きた事件について述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、地図中の場所 a ～ d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 29

Ⅰ ペリーが来航し、幕府に対して開国を求めた。

Ⅱ 生麦事件の報復として、イギリス軍艦がこの地を攻撃した。



- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ① | Ⅰ－a | Ⅱ－c | ② | Ⅰ－a | Ⅱ－d |
| ③ | Ⅰ－b | Ⅱ－c | ④ | Ⅰ－b | Ⅱ－d |

第5問 近現代の資本主義の成立とその発達に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 日本の近代産業は、はじめ繊維産業を中心として発達した。民間の近代産業の先駆的な事業として渋沢栄一が中心となって設立した「**ア**」や、華族らが出資した日本鉄道会社などの事業をモデルとして、1880年代後半には会社設立ブームが起こった。これを背景に、繊維産業における産業革命が起こり、日清戦争後に資本主義が本格的に成立した。[Ⓐ]繊維産業の発展は海運業など他の産業の発達をうながし、海外貿易を行う日本の商社の活動も活発になった。

日清戦争後、政府は清国から得た巨額の賠償金をもとに軍備拡張を進めた。その一方で、為替を安定させるために貨幣法を制定して「**イ**」を確立した。また、国内産業の育成も行われた。軍備拡張のために不可欠な鉄鋼を国産化する目的で官営八幡製鉄所が設立され、これを受けて民間の造船所や製鋼所が発達した。日露戦争後には銑鉄の自給率が50%を超え、重工業においても産業革命が実現した。

問1 空欄「**ア**」・「**イ**」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① **ア**ー大阪紡績会社 **イ**ー金本位制
- ② **ア**ー大阪紡績会社 **イ**ー銀本位制
- ③ **ア**ー三池炭鉱 **イ**ー金本位制
- ④ **ア**ー三池炭鉱 **イ**ー銀本位制

問2 下線部[Ⓐ]に関連して、明治時代の産業・経済・社会に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 製糸の生産量では、日清戦争後には器械製糸が座繰製糸を上回った。
- ② 日清戦争後、綿糸の輸出量が輸入量を上回った。
- ③ 繊維産業には、おもに女工とよばれた女性が従事した。
- ④ 足尾鉍毒事件では、内村鑑三が天皇に直訴を試みた。

B 日露戦争後の日本経済は、長引く不況や外債の返還などにより危機的な局面を迎えた。これを一変させたのが、⑥第一次世界大戦にともなう好況であった。大戦によりヨーロッパ諸国がアジア市場から撤退したことを受けて、日本はアジア市場を席卷して大きな利益を得た。日本は債務国から債権国に転じ、大戦で大きな打撃を受けたヨーロッパ諸国の国力低下もあって、国際的地位は高まった。しかし、第一次世界大戦が終結してヨーロッパ諸国の復興が進むと、その反動である不況の打撃は大きく、さらに中国の対日感情が悪化するなど、代償もあった。

日本はその後、震災の影響などによる第一次世界大戦後の不況からもなかなか脱することができなかった。⑦民衆が期待をよせた政党内閣も不況に対して有効な打開策を打てず、かえって不況を長引かせた。こうした中、アメリカに端を発する世界恐慌の影響からブロック経済化が進むと、日本では経済統制が強まり、日中戦争勃発後は戦時経済体制へと移行した。

問3 下線部⑥に関連して、大戦景気に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① アメリカからの輸入が途絶えたため、化学工業が成長した。
- ② 海運業や造船業が好況となり、船成金が生まれた。
- ③ 工業用の動力の多くが、電力から蒸気力に転換した。
- ④ 大戦景気のさなかに米騒動が起こり、原敬内閣が退陣した。

問4 下線部⑦に関連して、大正時代から昭和時代初期にかけての政党政治に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 加藤高明内閣は、満20歳以上の男女すべてに選挙権を認めた。
- ② 田中義一内閣は、満州某重大事件の処理に失敗して総辞職した。
- ③ 浜口雄幸内閣は、ワシントン海軍軍縮条約に調印した。
- ④ 犬養毅内閣は、井上準之助の指導のもと金輸出解禁を行った。

C 第二次世界大戦が終結し、日本では連合国による占領政策が始まった。占領政策の中心を担った連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）は、日本が再び戦争を起こさない国家となるよう、さまざまな改革を行い、④労働組合の育成・保護や財閥解体などの戦後改革が進められた。

しかし、戦後の世界には、かつて第二次世界大戦の際にイギリスの指導者であった「ウ」が「鉄のカーテン」と形容した資本主義陣営と社会主義陣営の対立（冷戦）があり、日本もその影響を受けた。一方中国では日本が撤退したのち、国民党と共産党が内戦を繰り広げていたが、共産党が優勢となり、社会主義国家の「エ」が誕生した。朝鮮半島では、東西両陣営の直接的な軍事力の行使がみられた。その一方で、⑤西側陣営国の一つとして国際復帰を果たした日本は、目ざましい経済発展を遂げた。

問5 空欄「ウ」・「エ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① ウートルーマン エー中華人民共和国
- ② ウートルーマン エー中華民国
- ③ ウーチャーチル エー中華人民共和国
- ④ ウーチャーチル エー中華民国

問6 下線部④に関連して、戦後改革の中で行われた政策について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

- Ⅰ 重要産業統制法の制定により、持株会社が整理され、財閥解体が進められた。
- Ⅱ 労働組合法・労働関係調整法・工場法の労働三法が新たに制定された。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問7 下線部㉔に関連して、戦後の経済に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 36

Ⅰ 東京オリンピックの開幕直前に、東海道新幹線が開通した。

Ⅱ 経済企画庁の『経済白書』に、「もはや戦後ではない」と記された。

Ⅲ 第4次中東戦争の影響で、日本は第1次石油危機に直面した。

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| ① | Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | ② | Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ③ | Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| ④ | Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | ⑤ | Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | ⑥ | Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

(日本史の問題は終わり)